

## 「時間を守ること～背中教える～」

学校生活は時程が決まっています、チャイムで行動します。月ごとの生活目標に「時間を守りましょう。」「チャイムの合図でスタートしましょう。」などと掲げる学校も多いと思います。

学校全体で同じ目標に取り組んでいても、自分のクラスと隣の先輩教員のクラスでは、時間に対する子どもたちの動き方が違うと感じた若手の先生。先輩のクラスの子ども達は、授業の始まりに遅れる子は一人もおらず、いつもチャイムと同時に授業がスタートできているのです。そこで、先輩の言動に注目してみると、あることに気づきました。

先輩は授業開始の1分前には必ず教卓の前に立っています。その姿を見習うように、子ども達も当たり前のように席に座って待つことができている。さらに、机の上には教科書やノート、ドリルなどの学習準備が全員できています。

行事や全校朝礼など学校全体が動く場面でも、必ず子ども達より早く集合場所に立って待っている先輩の姿があります。そして、先輩のクラスの子どもは、いつも一番に集合できています。普段から教室でしていることが、学校全体の場でも当たり前に行っているのです。

後から先輩に尋ねると、「自ら手本を示すことを大切にしているんだよ。学習準備は、前の授業の終わりに一声かけて確認しているよ。」と教えてくれました。

先輩は、始まりだけでなく終わりのチャイムも必ず守るそうです。「終わりのチャイムが鳴ると、子どもの集中はそこで切れるもの。時間を延ばして切りのいいところまで・・・と思うけど、子どもはそうじゃない。始まりを守らせるなら、終わりも守らないとね。」と笑って教えてくれました。